

すべては「子供たちのため」に



前回の「長研だより」に引き続き、今回も長期研修ゼミナールの様子をご紹介します。

10月2日（金）に実施しました田辺次長の講義では、「意識の改革と発想の転換」をテーマに、映像等を使いながら具体的に、これからの教育の在り方についてのお話がありました。研

修後には現場に戻り、茨城の子供たちの未来を支える長期研修生にとって、大変意義深いお話となりました。

長期研修生からは、「当たり前と思うことを『これからの社会で生きる子供たちのため』という視点で見てほしいという言葉が印象的だった。」や「『固定観念にとらわれない』『新たな発想をもつ』意識を高めていくことが大切だと感じました。」などの感想が聞かれました。

少しずつ固まり始めてきました！

10月5日（月）に、研究分野ごとのグループに分かれて、研究計画検討会を実施しました。センターの長期研修は、一人の長期研修生に対して一人の指導主事または主査が担当となり、細やかな指導・助言を受けることができるという「強み」をもっています。この研究計画検討会においても、長期研修生たちはそれまでの担当指導主事・主査からの指導・助言を基に作成したプレゼン資料を用いて、自身の「研究の方向性」や「具体的な手立て」などを、検討会に参加している他の指導主事や主査たちに伝え、さらなる指導と助言を受けていました。



長期研修生からは、「自分の研究の在り方を根本から見直すよい機会となった。」や「今後の研究を、子供たちのためによりよいものにしていきたい。」などの感想が聞かれました。